

演習 I

科目ナンバリング SEM-301

必修 2単位

瀬藤 芳哉

1. 授業の概要(ねらい)

企業、特に多くの日本企業の存続・成長には海外展開が必須である。企業の国際的な活動を考える上で、関係する外国の政治・経済状況や投資環境等と企業自身の状況を把握することが大事である。このゼミでは(1)国際的な企業活動の舞台となっている国々、主にアジアを取り上げ、政治・経済状況等の見方を学ぶ。また、(2)企業(大企業、中小企業)の経営状況、アジア等での事業の状況と課題を調べ、考える。

授業では、①国の政治・経済状況に関する教科書ないし資料の輪読を行う。受講者は担当する国の内容をレジュメにまとめて報告し、全員で質問・討論する。続いて、②グループを作り、担当国を決め、当該国の状況とそこでの企業活動についてレポートを作成し、発表する。こうした過程を通じ、メンバーが討論や発表方法を学び、経験を積めるようにしたい。③また海外ビジネスや調査に携わっている外部講師による講義を1～2回行いたい。

また可能であれば、海外での企業活動や風物に触れるために夏休み期間中に東南アジアを訪問したい。

なお、ゼミの進行状況、メンバーの関心等を踏まえ、運営方法や内容を変更することもあります。

2. 授業の到達目標

- ・企業の進出先国(アジア等)の政治・経済状況を把握する。
- ・海外展開している企業(大企業、中小企業)の状況を把握し、課題を考える。
- ・討論と発表の経験を積み、グループ内や人前で積極的に発言できる。

3. 成績評価の方法および基準

レジュメ(個人)の内容と発表:30%、レポート(グループ)の内容と発表:40%、授業への参加・貢献度(質問等の発言):30%

4. 教科書・参考文献

教科書

みずほ総合研究所 『図解ASEANを読み解く 第2版』 東洋経済新報社

参考文献

大西裕、片山裕著 『アジアの政治経済入門 新版』 (有斐閣)

末廣昭 『タイ 中進国の模索』 (岩波新書)

佐藤百合 『経済大国インドネシア』 (中公新書)

一ノ瀬泰造 『地雷を踏んだらサウナラ』 (講談社文庫)

小松みゆき 『ベトナムの風に吹かれて』 (角川文庫)

5. 準備学修の内容

- ・テーマの予習。レジュメ、レポートの作成。
- ・新聞、書籍、映像等で海外の風物や企業の海外活動の事例に触れる。出来れば、英語のニュースや文献に触れる。

6. その他履修上の注意事項

- ・東南アジアに関し、政治・経済に限らず、幅広い分野(小説、映画、食事、音楽、他)で触れるように心がけて欲しい。
- ・授業への参加・貢献が必要です。受講態度(私語の有無、他)も重視します。
- ・レジュメやレポートの作成にあたっては、自分の言葉で、分かりやすくまとめる。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:ゼミの進め方や学習の仕方などを説明する。
- 【第2回】 アジア等の経済発展の歴史について(講義)
- 【第3回】 担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第4回】 担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第5回】 担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第6回】 担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第7回】 担当者による国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第8回】 グループワーク
- 【第9回】 外部講師による海外事情(東南アジア等)についての講義(仮)
- 【第10回】 グループによる国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第11回】 グループによる国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第12回】 グループによる国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第13回】 グループによる国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第14回】 グループによる国の政治・経済状況の発表(タイ、インドネシア、比、越、台湾、等の一国)
- 【第15回】 まとめ